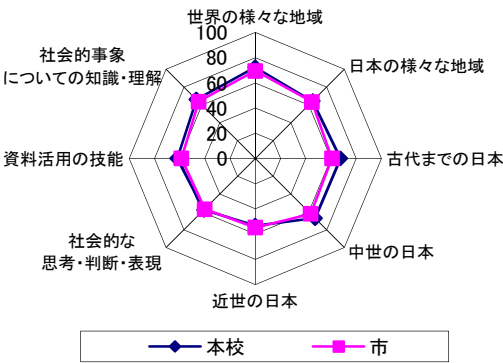


宇都宮市立瑞穂野中学校 第2学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	世界の様々な地域	72.4	69.4
	日本の様々な地域	64.4	63.4
	古代までの日本	67.5	60.8
	中世の日本	67.1	62.1
	近世の日本	53.3	54.9
観点別	社会的な思考・判断・表現	57.7	56.9
	資料活用・技能	62.0	58.7
	社会的現象についての知識・理解	66.2	63.7



★指導の工夫と改善

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	世界の様々な地域	市の平均より3ポイント高い。基礎的な学力は身につけているが、世界の地形についての正答率は低かった。	世界・日本ともに概ね市の平均を上回っているが、観点別に見ると、思考・判断・表現についての問題の正答率は低い。授業で資料から必要な情報を読み取り、考え、言語活動を通して表現する活動を重視したい。
	日本の様々な地域	市の平均とほぼ同じである。基礎的な学力は身につけているが、資料を読み取って記述する問題の正答率は低い。	
歴史	古代までの日本	市の平均より、約7ポイント高い。観点別に見ると、社会的現象についての知識・理解が高かった。	地理分野と同様、思考・判断・表現についての問題の正答率が低い。授業で資料から必要な情報を読み取り、考え、言語活動を通して表現する活動を重視したい。
	中世の日本	市の平均より5ポイント高い。平安時代後期から、室町時代までの歴史の流れも理解している。	
	近世の日本	市の平均を1ポイント下回っている。江戸時代に出された法令についての問題の正答率が低かった。	